

静岡理工科大同窓会20周年
(宮川信之会長)は25日、設立20周年記念の総会「20周年を祝つ会」を浜松市中区のホテルで開いた。卒業生約20人が出席し、節目

静岡理工科大同窓会の年を祝った。

宮川会長が「同窓会の活動は卒業生一人一人の人生を充実させるため。今後も会員の協力の下、地域貢献に向けた活動を展開していく」とあいさつしている。

静岡理工科大同窓会20周年 「地域貢献の活動展開」 中 区



設立20周年を記念してあいさつする宮川会長

＝浜松市中区のホテル

同大の野口博学長は「卒業生は本学にとつて財産。今後も温かく見守ってほしい」と呼び掛けた。

元宮崎県知事の東国原英夫氏による記念講演も行われた。「たけし軍団から政治家を目指して」の演題で、自身のタレントから政治家への転身などについて語った。

同窓会は、毎年10月に開かれる同大文化祭で卒業生同士が交流を深めるホームカミングデーを実施したり、公式フェイスブックで活動の様子を公開したりしている。

静岡新聞社編集局調査部許諾済み